

マスクによる肌荒れ対策「皮膚バリアを維持する」

マスクによる肌荒れ対策のポイントは、皮膚バリアを丈夫にすること。海の森化粧品は、抗炎症剤や保湿剤を用いて一時的に肌荒れ症状を抑える敏感肌・肌荒れ商品とは違い、壊れた皮膚バリアを修復し丈夫にするバリアケアで、マスクの蒸れや擦れによるバリア破壊を最小限に抑え、肌荒れの軽減・解消につなげます。

●マスク肌荒れの原因「皮膚バリアの崩壊」

マスク肌荒れの大きな原因は、マスクの蒸れや擦れによる皮膚バリアの崩壊です。皮膚には皮膚バリア(皮脂膜・角質層)があり、空気の乾燥、紫外線、菌増殖、化粧品、マスクなど、様々な刺激から肌を守っています。マスクを着用すると、呼吸に含まれる水分によってマスク内が蒸れたり、マスクが触れることによる刺激で皮膚バリアが壊れます。一時的な着用であれば肌荒れは起こりません(起きてもすぐにおさまります)が、着用の回数・時間が長くなると、常にバリアが壊れた状態となり、様々な刺激の影響によって肌荒れが起こりやすくなります。

●マスク肌荒れは、保湿ケアをしている方ほど起こりやすい

保湿ケアをしている方ほど、「皮膚バリアが壊れている」ため、マスク肌荒れが起こりやすくなります。化粧水、乳液・クリーム、オイル、パック、ゲルなどほとんどの保湿化粧品には、合成界面活性剤やアルコールが配合されています。継続使用は皮膚バリアを壊すため、この状態でマスクを着用すると、ちょっとしたマスクの蒸れや擦れによって、肌荒れが起きてしまいます。また、ほとんどの洗顔剤・クレンジング剤、日焼け止めにも合成界面活性剤やアルコールが配合されています。これらの継続使用も、マスク肌荒れの大きな原因となります。

●一般的なケア「一時的に症状をおさえる」

敏感肌用・肌荒れ対策商品は、抗炎症剤や痒み止め、保湿剤などによって一時的に痒みや赤み、腫れ、ニキビなどの様々な肌荒れ症状を抑えることを目的としています。使用後は、すぐに肌荒れ症状がおさまる場合もありますが、皮膚バリアは壊れたままのため、しばらくすると症状が現れます。

むしろほとんどの商品には、合成界面活性剤やアルコールが配合されているため、継続使用は皮膚バリアを壊すためかえって症状の悪化・繰り返しにつながりやすくなります。

●海の森化粧品「症状を繰り返さない肌へ」

水分と油分(リノール酸:タイプ1セラミド)が馴染んだ薄い膜が壊れた皮膚バリアを修復します。合成界面活性剤やアルコールを使わず、バリアを壊さずケアすることで、多少時間はかかっても丈夫な皮膚バリアが形成されるため、マスクによる蒸れや擦れの影響を最小限に抑えることができます。結果、肌荒れ症状を繰り返さない肌をサポートします。

